

16 古文2 古文の言葉とその意味

組	
番号	
氏名	

1

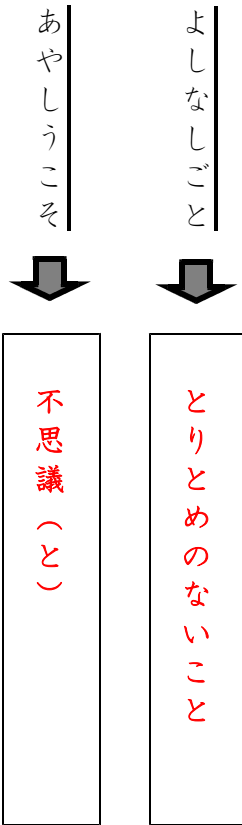
次は「徒然草」の「冒頭の部分」とその「現代語訳」です。
 部の言葉の意味を「現代語訳」の中から抜き出しなさい。

【冒頭の部分】

つれづれなるままに、日暮らし、硯すずりにおかひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。

【現代語訳】

何もすることがないままに、一日中、硯に向かかって、心に次々と浮かんで消えていくとりとめのないことを、ただなんとなく書き付けていると、不思議と妙な感じがしてくる。



※平成21年度全国学力・学習状況調査

県	69.8%
全国	65.0%

2

次の①～④の古語の意味をあとのア～カの中から選び、記号で答えなさい。

- ① いと
- ② うつくし
- ③ ある
- ④ あはれ

ア	少し。	イ	非常に。たいへん。
ウ	座っている。	エ	かわいらしい。
オ	悲しい。	カ	しみじみとした趣がある。

④	③	②	①
カ	ウ	エ	イ